

(全国古民家再生協会 山形第一支部 例会) 議事録

記録日： 2016年3月24日

記録者： 色 摩 崇

団体名	一般社団法人全国古民家再生協会 山形第一支部
開催日時	2016年3月24日(木) 17:00~18:00
開催場所	レッツ学院ビル
出席者	本多、菊地、荒井、加藤、色摩 オブザーブ参加 阿部、小林
議事	<ol style="list-style-type: none">開会宣言 事務局長 菊地 俊道出席者確認支部長挨拶 井上顧問 オブザーブ参加の阿部様 古民家鑑定士試験受験の小林さんに来ていただいております。 全国大会でのアレックス・カーさんの講演はとても素晴らしかったです。 残していかなければならない物へ手をかけ長持ちさせ活用し古民家の良さを皆さんに知っていただく。全国の方と交流をし、多くの刺激を受けてきました。 何年も前から活動されている方々の熱意を感じてきました。 ジャパトラの配布部数を多くしました。2月より皆様にご協力頂いております 今年は会議だけの活動ではなく、外へ出て活動したいと思います。 年度末ですので、新たなスタートを切れるよう頑張っていきたいと思います。前回議事録 確認議題並びに資料の確認本会報告事項 6-1 第6回全国大会が開催になりました。 来年度の全国大会開催日がきまっておりますので、全員で参加できるようにお願いいたします。 6-2 新サービス開始のお知らせ 古民家見守り隊 古民家緊急サービス24事務局報告事項 第5回古民家フォト甲子園が始まりました。 メディア掲載のお知らせ支部報告事項 古民家を旅館にしたいなど相談が来ています。 ジャパトラ配布にて、情報を発信していると話をいただけるようになってきます。審議事項確認事項 東北地区の地区大会があります。山形県が担当になります。5月29日(日)です。 小池さんに調査をお願いしているので、視察をしてきます。

	<p>11. 学習プログラム</p> <p>井上顧問のお話し</p> <p>建前をしますか？なんで建前というのでしょうか。</p> <p>新教本290ページ 430ページ旧教本</p> <p>お寿司屋さんは、お客様の好みを考えて仕入れをする。</p> <p>魚の仕込みをし、お客様へ出します。</p> <p>大工さんも 木 を適材適所に使い分けます。</p> <p>山で見て、使う場所、用途を考えます。</p> <p>西岡棟梁 法隆寺 設計士との話があります。</p> <p>設計士は、図面と違う場所を指摘すると、棟梁は30年後に高さ 変化することを話したそうです。</p> <p>家って深いのです</p> <p>これを学べるのが古民家です。</p> <p>国産材があまり使われない。梁を米松使いますよね。</p> <p>日本の木材は3mと4mしかないのです。</p> <p>山から出てくる材木は道が狭いので長い木材は出せません。</p> <p>梁は3m4mでは足りませんよね。</p> <p>日本の木材が売れない理由</p> <p>継手を作らなくなったから。</p> <p>昔から長い材料は無かった。日本の住宅の常識は継手を作って、短い材料を長くする大工の腕 です。</p> <p>住まいには必ず 造り手と住まい手があります。</p> <p>家が長持ちする メンテナンスが来ている家です。</p> <p>長持ちさせるのは、造り手ではありません 住まい手です。</p> <p>住まい手の教育をしましょう クレームが減ります。</p> <p>どうやったら良いお客さんを見つけるのか</p> <p>物を大切にすることはクレームが少ないのではないのでしょうか</p> <p>3月18日 新住生活基本法 住育を推進する団体を作る事が閣議決定されました。</p> <p>先人たちの知恵を学んでもらう 新しい知識を大切にする</p> <p>伝統資材を活かした新民家をしっかり作っていきたい</p> <p>12. その他</p> <p>13. 閉会宣言</p>
決定事項	議事内に記載
次月開催日時	2016年 4月 14日(木) 古民家鑑定士試験 有
次月開催場所	レッツ学院ビル